

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

to Rotary club presidents and secretaries



国際ロータリー第2840地区 2004-2005年度

山崎ガバナー事務所

〒370-0849 群馬県高崎市八島町32長谷川ホテル1F TEL 027-324-2840 FAX 027-324-2841

URL <http://www.rid2840.jp> E-mail yamazaki@rid2840.jp



ガバナー月信 Vol. 5

CONTENTS

ガバナー挨拶	2
ロータリー財団月間にちなんで	4
地区大会報告	6
IM報告 第1分区	7
第2分区	9
第3分区	11
第4分区	13
第5分区	15
第6分区	17
ライラ研修報告	19
職業奉仕セミナー報告	20
ハイライトよねやま	21
新会員紹介	22
文庫通信	22
出席報告／今月の予定	23





国際ロータリー第 2840 地区
2004-05 年度 ガバナー 山崎 學

財団月間によせて

11 月はロータリー財団月間です。

ロータリー財団は世界中でさまざまなプログラムを実施しています。これらのプログラムを通じて飢餓、貧困、疾病、識字率の向上、財団奨学生、ポリオプラスといった活動を行っております。

ロータリー財団は 1917 年国際ロータリー会長のアーチ・クランフによって創設されました。1957 年にポール・ハリス・フェローの認証がはじまり、1978 年に保健、飢餓追放および人間性尊重補助金（3-H）プログラムが創設されました。1985 年にポリオ・プラス・プログラムがスタートし、2003 年に地区を通して各クラブの奉仕活動を補助する目的で地区補助金制度が始まりました。

財団のプログラムには、次の三種類があります。

教育的プログラム

国際親善奨学生

世界平和奨学生

研究グループ交換（GSE）

人道的補助金プログラム

地区補助金

個人向補助金

マッチンググラント

ポリオ・プラス・プログラム

ポリオ・プラス・パートナー・プログラム

ロータリー財団は「毎年すべてのロータリアンが」（Every Rotarian Every Year）を目標として掲げ、年次プログラム基金に毎年 100 ドル以上の寄付をお願いしております。海外におけるプロジェクトは日常忙しい我々が直接現地に赴いて奉仕活動をする状況にはありません。「われわれの夢」が年次プログラム基金と恒久基金を通して実現するように財団に託したいと思っております。

ポリオ・プラス・パートナー・プログラム支援のお願い

国際ロータリー第 2840 地区
ガバナー 山崎 學

皆様ご存じのように、ロータリー100周年を迎えるに当たっての、グレン・エステス R I 会長の強調事項の1つに、ポリオの撲滅が挙げられています。

国際ロータリーがポリオ撲滅のために、国際機関と協力してポリオ予防接種活動を開始した1985年当時は、世界で年間38万人以上のポリオ発症例がありました。その後、世界各国政府の国際支援や、ボランティアの協力のお陰で、昨年は発症が1,000件以下にまで減少しました。今年に入ってから9月までの発症例は54人であり、ポリオ感染者の発生をゼロにしようとするポリオ撲滅の目標達成は目前に迫っています。

しかし残念ながら、ポリオ撲滅運動はロータリーをはじめとする関係機関の努力にもかかわらず、途上国の武力抗争などの予期せぬ障害の影響を受けて予定が遅れました。そのために、国際ロータリーは、計8,000万ドルの「ポリオ撲滅基金キャンペーン」を開始し、日本のロータリーもこれに協力して、一昨年度から3年間で一人当たり150ドルの寄付をお願いしています。

元来、「ポリオ・プラス計画」の資金は、主としてポリオ・ワクチンを供給するためのものであり、現地のボランティアや関係機関が、このワクチンを有効に利用するために必要な資金を提供するのは、「ポリオ・プラス・パートナー・プログラム」であります。このプログラムは、現地の検査室の整備や、広報活動などのボランティア活動支援になくてはならないものです。このように、ポリオ撲滅のための募金系統が「ポリオ・プラス計画」、および「ポリオ・プラス・パートナー・プログラム」の2つに分かれていることから、この両者はしばしば混同されますが、現地のボランティアにとって最もありがたいものは「ポリオ・プラス・パートナー・プログラム」による援助であると言われます。

ポリオ・プラス・パートナーへの送金は、一般の送金報告書をご利用いただけます。ロータリー財団月間を迎えるに当たり、ロータリー100周年の最大の記念行事となるべきポリオ撲滅を目前にして、「ポリオ撲滅基金キャンペーン」へのご協力と共に、資金の多寡にかかわらず、ご無理のない範囲内で、何卒ポリオ・プラス・パートナー・プログラムへのご支援をお願い申し上げます。



ロータリー財団月間によせて

国際ロータリー第 2840 地区
ロータリー財団委員長 清 章司

今世紀に入り国際ロータリーとロータリー財団の全世界における活動は、益々その重要性を増してきています。歴史的には 1917 年のアトランタ国際大会での提案に始まり、1928 年の国際大会でロータリー財団と名づけられ、1931 年には信託組織となりました。そして 1983 年に米国イリノイ州法の法令のもとに非営利財団法人となりました。

ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」で国際ロータリーと法的に組織は違ってもその目的、使命、活動は両者一体のものであります。

ロータリー財団では、奉仕活動と資金調達が車の両輪です。この両者があって始めて貧困や飢餓、病気や障害に悩み苦しんでいる全世界の人達に対して世界理解と平和に貢献するという私達の目的を達することが出来ます。私達は、この奉仕活動と資金調達は、車の両輪であるという言葉を充分かみしめ、理解し、そして実行する必要があります。

2000 年 2 月のロータリー財団管理委員会ではロータリー財団の使命である国際レベルの奉仕活動に加え、地域レベル、全国レベルの活動が追加され更にロータリー財団活動の基盤と範囲が広がりました。

地区ロータリー財団委員会の組織

その役割と責務が 2003 - 2004 年から大きく変わりました。当地区は、下記の 7 委員会を 3 委員会に集約し、積極的に活動しております。

高木委員長	補助金、奨学金
島津委員長	年次寄付、恒久基金
槻岡委員長	GSE、ポリオプラス、学友会、ロータリーカード

当地区内においては、地区チーム研修セミナー、PETS、地区協議会、更には、8 月 29 日に行われました地区ロータリー財団セミナーにより使命と活動、募金についての研修を行いました。複雑な委員会ではありますが腰を据えた委員会活動をお願いしている所であります。

ロータリー財団国際親善奨学生の選考

この奨学金は、ロータリー財団発足以来民間レベルとしては、世界最大規模の奨学制度であり、ロータリーの最も誇りとする教育的分野の奉仕プログラムであります。人道的プログラムが、現在全世界で悩み苦しんでいる人達の今に必要な奉仕プログラムであるのに対し、未来の平和な世界をリードする人達を育てるプログラムであると言えます。

今年度は、各クラブから推薦された 6 名の応募者の中から 1 年奨学生 2 名、マルチイヤー 1 名、合計 3 名の奨学生を内定いたしました。彼らは、05 - 06 年にそれぞれ志望する学校へ留学することになります。いずれ劣らぬ優秀な学生でありその選考には大変苦慮いたしました。留学先との文化交流、親善大使としての資質等、総合判断の結果はやはり衆目の一致ということで 3 名を選考いたしました。

地区補助金

2002年 - 2003年の3年間試験的プログラムとしてCAP（地域援助プログラム）が実施され国内または地区内の社会奉仕プロジェクトにロータリー財団が補助金を出すという画期的なものでした。これが着実に発展し、一定の成果をみることが出来た為、前年度（2003 - 2004）より地区補助金という本プログラムになり本年は2年目になります。

折に触れ、クラブの皆様には充分その活用方法につき研修しているところであります。地区補助金の使途としてふさわしいプログラムを多くのクラブで計画して頂き地域へのロータリーの浸透に務めて頂きたいです。

寄付の要請と目標の遂行

本年度の当地区年次寄付目標額は、年次寄付 220,000 ドル

Every Rotarian Every Year 毎年あなたも 100 ドルを（決議 04 - 157）に基づき 1 人 100 ドルを目標としています。また元金には手をつけず将来のための恒久基金は 5000 ドルを目標としています。尚この恒久基金には、既に山崎ガバナーが率先垂範され、10,000 ドルの大口寄付をお寄せいただいております。3 年前から RI の強調事項が 2 つあります。2002 - 2005 年に識字率向上プロジェクトでは 1 クラブ 1000 ドル、ポリオ撲滅募金キャンペーンでは会員 1 人 150 ドルのいずれも 3 年目の最終年度になります。ご自分のクラブを振り向いて足元を確認してみてください。

ロータリーカードのご加入を

2002 - 2003 年度よりロータリー活動を支援する目的と知恵を使った寄付行為をするということでクレジットカードを発行することになりました。年会費 10,000 円のゴールドカードのほかに年会費不要のスタンドカードの 2 種類があります。日本の場合カード会員が 10000 人になりますと利用金額 0.3 パーセントが自動的にロータリー財団に還元され、寄付されることになります。後日カード会社よりご案内を予定しております。ぜひご入会をお願いいたします。

目まぐるしく変わるロータリー財団であります。世界は常に変化しています。変化に対応したプロジェクトが出来るといことは、機を見て敏なる財団とご理解頂き、更なるご尽力をお願いし、ロータリー財団委員会の報告といたします。

DRFC 清 章司

地区大会報告

国際ロータリー第 2840 地区
地区幹事 佐藤 修

10月23日～24日両日、群馬音楽センターを主会場に国際ロータリー第2840地区2004-2005年度地区大会が開催されました。

RI会長代理にRI第2660地区パストガバナー若林紀男氏ご夫妻をお迎えし、地区内ロータリアン1836名、海外16名、地区外21名、関係団体26名のご参加がありました。

1日目は群馬県立女子大学学長・富岡賢治氏にご講演を頂き、2日目には市民公開特別記念講演として寛仁親王殿下のご講演と、河野保人氏のツイッターコンサートがあり、多くの市民が来場しました。

地区大会委員会より各報告がなされ、すべての提案事項が承認されました。本大会の選挙人は86名でした。

RI会長代理歓迎晩餐会および懇親会もロータリーの友情を深め、盛況のうちに終了しました。

23日夕刻の新潟中越地震で晩餐会場も激しく揺れ、新潟から参加の会員、24日に参加予定の会員が交通機関切断で一部参加できなくなりました。被災地の方々には心からお見舞い致します。大会会場でも義援金を集め早急にお送りします。

最後にホストクラブの高崎南RC、コホストの第三分区の各クラブの皆様に御礼申し上げ、報告と致します。



全体風景



若林 RI 会長代理



山崎ガバナー



寛仁親王殿下



晩餐会



懇親会

第1分区IM開催報告

国際ロータリー第2840地区

第1分区アシスタントガバナー 田村 榮一

ホストクラブ 前橋北ロータリークラブ

期 日 : 平成16年9月4日(土)
 場 所 : 前橋東急イン
 時 間 : 13:00~17:50
 次 第 :

12:30~13:00	受 付	(2Fロビー)	
13:00~13:20	開 会 式	(慶雲の間)	司 会 女 屋 恭 治
	開会のことば		IM実行委員長 井 上 農 之
	点 鐘		ホストクラブ会長 永 島 勝 治
	国歌斉唱		ソングリーダー 岡 崎 政 夫
	ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」		ソングリーダー 岡 崎 政 夫
	歓迎のことば		ホストクラブ会長 永 島 勝 治
	挨拶		アシスタントガバナー 田 村 榮 一
	来賓紹介		アシスタントガバナー 田 村 榮 一
13:20~13:50	講 話	ゼネラルリーダー(バストガバナー)	清 章 司
13:50~14:00	本日のIMの進め方 諸事お知らせ・休憩	アシスタントガバナー	田 村 榮 一 司 会 女 屋 恭 治
14:00~15:35	研修会		
14:00~14:45	テーマ 『クラブの充実』	(慶雲の間)	
	一退会防止・会員増強への取り組み一		
	リーダー	内山 均(前橋東RC)	
	サブリーダー	山田 孝義(前橋北RC)	
	事例発表	山田 美光(前橋RC会長) 竹内 嘉一(前橋西RC会長)	
	司会	富岡 政明	
14:45~14:50	休憩		
14:50~15:35	テーマ 『ロータリーの広報』	(慶雲の間)	
	一ロータリー財団・米山奨学の理解一		
	リーダー	福田 一良(前橋西RC)	
	サブリーダー	吉田 光徳(前橋南RC)	
	事例発表	大本 計馬(前橋東RC会長) 稲木 愛子(前橋中央RC会長)	
	司会	門倉 正	
14:00~15:35	テーマ 『新会員研修』	(ファミリールーム)	
	一ロータリー情報の提供と奉仕・親睦活動への参加一		
	リーダー	本田 博己(前橋RC)	
	サブリーダー	佐藤 信一(前橋中央RC)	
	事例発表	八木原重喜(前橋南RC会長) 永島 勝治(前橋北RC会長)	
	司会	金古 典夫	

15:40~16:00 閉会式

総括
閉会のことば
点 鐘

16:00~16:30 諸事お知らせ・休憩・移動

16:30~17:50 懇親会

開宴のことば
乾杯
アトラクション
閉会のことば
ロータリーソング斉唱「手に手つないで」
終了

(慶雲の間)

司 会	女 屋 恭 治
ゼネラルリーダー(バストガバナー)	清 章 司
IM実行副委員長	荻 野 信 一
ホストクラブ会長	永 島 勝 治
司 会	女 屋 恭 治

(慶雲の間)

司 会	牛 込 信 喜
アシスタントガバナー	田 村 榮 一
直前アシスタントガバナー	神 山 健
ポップス尺八奏者	昌 平
IM実行副委員長	鈴 木 貢
ソングリーダー	岡 崎 政 夫

第1分区IM写真集



全体風景



事例発表 前橋中央 RC 会長 稲木愛子



懇親会風景



全員で、手に手つないで

第2分区 IM開催報告

国際ロータリー第2840地区

第2分区アシスタントガバナー 猪俣 健

ホストクラブ 伊勢崎南ロータリークラブ

国際ロータリー第2840地区第2分区のIMは、当年度当地区の研修リーダー高木貞一郎パストガバナー（以下PGという。）をゼネラルリーダーにお願いして、伊勢崎南RCをホストに、9月5日（日）午後12時30分より伊勢崎市民文化会館において、約390人の会員の参加のもと開催されました。当日は、あいにく台風の余波による雨に祟られましたが、多数の皆様のご参加を頂き、恙無く開催出来ましたことを、本事業の主管者として、準備に携わった皆様はじめ関係する多くの皆様に衷心より感謝申し上げる次第であります。

今回のIMの運営形式は、皆様のご意見をお聞きした結果、昨年度の分科会形式でなく再び一昨年の講演会形式に戻して開催いたしました。

今回のIMのテーマは、山崎ガバナーの強調事項の第1に掲げられた「ロータリー100年の歩みを振り返り、新たな活動を起こそう」との方針を心に、新たな100年にむけての第一歩としてロータリーの原点とは何かを考えることと致しました。また今回のIMでは、新入会員教育に重点をおいた企画と致しましたので、新入会員全員の登録をお願いして開催いたしました。

当日は、約20分の開会式のあと休憩をはさんで1時間半にわたり、ジャーナリスト江川紹子氏を講師に「混迷の現代社会を想う」というテーマの講演を行いました。このあと再度の休憩の後、本日のメインとなりますゼネラルリーダー高木貞一郎PGによる講話を45分にわたり拝聴いたしました。テーマは、「新しい100年に向けて ロータリーの原点の確認」ということをお願いいたしましたが、高木PGのロータリーに対するご経験と、その知識とご理解の深さから生ずることと思いますが、自らのご経験や、規程審議会のお話をまじえ、より具体的にロータリーについて素晴らしいお話をお聞きできた45分だったと思います。高木PGのお話をお聞きして、新入会員の皆様もロータリーについて良く理解できたのではないかと思います。規程集を何十回よんでもロータリーのことは良くわからなくても、高木PGのお話を聞いた会員の皆様は、ロータリーは、単純に素晴らしいジェントルマンのクラブであることをよく理解できたのではないのでしょうか。特に新入会員のためには、貴重な講話となったと思います。

このあと10分程の閉会式、点鐘、諸事お知らせで、隣の伊勢崎プリオパレスに移動し午後4時より懇親会となりました。会員相互の親睦、ロータリー情報の伝達というIM本来の目的からすれば、この懇親会も、本日これまで行ってきたことと同等の重要な役割を担うものと実感した次第です。懇親会のアトラクションは、中国の二胡の素晴らしい演奏を楽しみました。

このようにしてIMの1日が終わりましたが、私どもが設定したテーマにあるように、新たな100年に向けて、多年にわたる米国流の拡大主義の影響もあり、100年の間に生じた制度疲労を抱えているロータリークラブの現状を改善しながら、各クラブが、それ

ぞれ抱えている問題を克服して、素晴らしいロータリークラブを作り上げて行かれることを祈念して、今年度 IM のご報告とさせていただきます。ご協力有り難うございました。



全体風景

第2分区IM写真集



ゼネラル・ディレクター 高木貞一郎バスターガバナー



講演会講師 ジャーナリスト 江川紹子さん



懇親会風景



全員で、手に手つないで

第3分区 I M 開催報告

国際ロータリー第2840地区

第3分区アシスタントガバナー 吉井 孝夫

ホストクラブ 高崎ロータリークラブ

期 日 : 平成16年9月11日(土)

場 所 : 高崎ビューホテル

時 間 : 13:30~18:00

次 第 :

13:00~13:30 登録受付

13:30~14:00	開会式	司 会	ホストクラブ幹事	堀越 芳春
	開会の言葉		IM 実行委員長	富田 俊二
	点 鐘		群馬第3分区 AG	吉井 孝夫
	国家斉唱		ソングリーダー	関口 俊介
	ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」		ソングリーダー	関口 俊介
	歓迎の言葉		ホストクラブ会長	箱田 明彦
	挨拶並びに登壇者紹介		群馬第3分区 AG	吉井 孝夫
	ゼネラルリーダー挨拶		ゼネラルリーダー	重田 政信
	諸事お知らせ		ホストクラブ幹事	堀越 芳春

14:10~16:00 パネルディスカッション 司 会 群馬第3分区 AG 吉井 孝夫
 テーマ「ロータリーを祝おう」～ 新たなる100年に向けて・・・基本に戻ろう～

- 1.ロータリー100年の歩みを振り返り、新時代にふさわしい奉仕の実践と親睦活動を起こそう
 リーダー 佐藤昭一 / サブリーダー 市川 武 / サブリーダー 竹内 僂
- 2.新会員に分区単位での研修を行い会員増強の基盤を作ろう
 リーダー 佐藤 修 / サブリーダー 竹内 功
- 3.ロータリー財団・米山奨学の理解を推進する
 リーダー 広田誠四郎 / サブリーダー 島津文弘

16:00~16:30	講 評		ゼネラルリーダー	重田 政信
	次期ホストクラブ紹介		ホストクラブ会長エレクト	小澤 武
	次期ホストクラブ挨拶		高崎セントラル RC 会長	遠藤 潤
	閉会の言葉		IM 副実行委員長	館 喜代視
	点 鐘		群馬第3分区 AG	吉井 孝夫

16:40~18:00	懇 親 会	司 会	IM 実行委員	亀田 又士
	開宴挨拶		IM 実行委員長	富田 俊二
	乾 杯		IM 副実行委員長	嶋方 康陽
	懇 親			
	ロータリーソング斉唱「手に手つないで」		ソングリーダー	関口 俊介
	閉宴の言葉		ホストクラブ副会長	竹内 功

第3分区IM写真集



ゼネラルリーダー 重田政信ハストクラブ会長



全体風景



ホストクラブ会長 箱田明彦



懇親会風景



全員で、手に手つないで

第4分区 I M 開催報告

国際ロータリー第2840地区

第4分区アシスタントガバナー 蛭田 義徳

ホストクラブ 太田中央ロータリークラブ

期 日 : 平成16年9月12日(日)
場 所 : マリエール太田 太田市西矢島町601
時 間 : 14:30~
ホ ス ト : 太田中央ロータリークラブ

高木 貞一郎パストガバナーをゼネラルリーダーに『新たなる100年に向け、親睦の輪を拡げよう』をテーマとし多くの会員の登録をいただき盛大に開催しました。

山崎 学ガバナーの方針を受け新会員のためのプログラムも組み入れ、基調講演を主とした内容

- ・ 基調講演 : 一般会員対象
 テーマ 「ロータリーのこころ ～遥かなりウォーリングフォード～」
 講 師 RI 第2560地区パストガバナー 吉田 昭平
 かたわら 太田 RC パスト会長 岡田 和夫
 かたわら 太田南 RC パスト会長 岩井 雄二郎
- ・ 基調講演 : 新会員(入会3年未満)対象
 テーマ 「ロータリーってなんですか？」
 講 師 2003~04年群馬第2分区 AG 金井 栄則
 IMゼネラルリーダー 高木 貞一郎
 かたわら 太田西 RC パスト会長 豊泉 政治

で全体会議を行いました。

全体会議終了後の懇親会では、他クラブの会員との親睦を少しでも深められるよう工夫をし、1テーブルに2クラブという形で、またアトラクションにはBIG BAND CLUBによる生演奏を行いつつ、ゲームを交えた大変楽しい懇親会となり、多くの会員の方々に喜んでいただきました。今回のIMが少しでも、ロータリー情報の普及と親睦の増進のお役に立てれば幸いです。

第4分区IM写真集



ゼネラルリーダー 高木貞一郎パストガバナー



基調講演講師 2560 地区 吉田昭平パストガバナー



基調講演講師 直前第2分区 AG 金井栄則



第4分区アシスタントガバナー 蛭田義徳



懇親会アトラクション

BIG BAND CLUB

第5分区 I M開催報告

国際ロータリー第2840地区

第5分区アシスタントガバナー 塚越 裕子

ホストクラブ 渋川みどりロータリークラブ

9月26日渋川プリオパレスにて7クラブ総勢160名の参加を得て実施いたしました。地元でそれぞれ行事が立て込んでいる中、多くの参加を得て盛大に行われた事に対し、厚く御礼申し上げます。

本年は「21世紀のロータリーを考える」をテーマに、第5分区各ロータリークラブの協力を得て準備を進め、以下の構成により行われましたので報告致します。

1. 全体会 (パネルディスカッション)

司会 田辺 寛治

ロータリー100年の節目の本年度、第5分区 I Mの本会議は「21世紀のロータリーを考える」をテーマとして、7クラブ代表の皆様と、コーディネーターに佐藤 修地区幹事を迎えて、パネルディスカッション方式で、これからのクラブ運営、奉仕活動(事業)について、各事例発表に基づき、意見交換、討論会をしていただきました。

100年の歴史と実績をふまえ新しい時代、社会に適合し、国際社会、地域(人、自然)に、より貢献できるロータリーとしての在り方を探る勉強会とし、貴重な意見をいただきました。

まず、クラブ運営においては、IT時代に合わせてパソコンの利用において、より速く、広範囲な情報の提供、伝達、ロータリアンの交流等、有効活用の必要性を感じました。例会は充実したプログラム、内容の工夫等を常に模索し、実行する事が出席率を向上させ、退会防止、増強へつながる事を認識し、実践していく事の大切さを理解しました。

奉仕活動(事業)においては新しいシフト=より時代、社会状況に適合できる形を確立する。これは従来型の寄付中心の奉仕から、勤労、作業を増やし、より地域(人、自然)と共存共有できる、効果的な活動方法がとれる事業を推進する事によって、今まで以上に奉仕活動に対するやりがいと、事業の存在価値を得る事ができ、ロータリーの思いが増幅し、活動の活発化によって、社会における評価と、継続事業の必要性がより高まるものと確信します。

今回、結論は出しませんでした。この討論会(機会)がロータリアンのさらなる奉仕に対する意識啓発と今後の指針が見えたら、一つの目的は達成できたと考えます。

2. 新会員研修会

記録 宮下 博躬

研修会は全体会と平行して別会場で、森田 均直前ガバナーにリーダーをお願いして開催されました。

第5分区の7ロータリークラブから、入会3年未満の会員に出席いただき、リーダーから30分のオリエンテーションがあり、後半30分は新会員とリーダーとで質疑、意見交換が行われました。

オリエンテーションの教材は、国際ロータリー第2650地区ロータリー情報委員会が平

成14年10月に発行した「ようこそロータリーへ 知っておきたいロータリー情報」を使用させていただき充実した内容になりました。研修は教材に沿って進められ、ロータリーの誕生とその成長、日本のロータリーの沿革、ロータリーの柱である綱領 公式標語 四つのテスト、ロータリークラブへ入会してのメリット、会員の義務、クラブ運営、ロータリーの行事等について懇切丁寧に説明していただきました。

質疑 意見でも、ロータリーの地区の番号は地区の位置が把握しにくい、昼の例会は出席困難になることがあるので、一部夜間例会も考えていただけないか等、ロータリー活動の実際を中心に活発に話し合われました。教材は新人研修には至れり尽くせりの構成で、新会員から敬服の言葉も出たほどで、身のある一時間でした。

第5分区IM写真集



ゼネラル・ター 森田均パストガバナー



全体風景



全体会コーディネーター 佐藤修地区幹事



懇親会アトラクション



全員で、手に手つないで

第6分区 I M 開催報告

国際ロータリー第2840地区

第6分区アシスタントガバナー 大手 雅晶

ホストクラブ 碓氷安中ロータリークラブ

9月26日(日)2840地区第6分区のIMを実施しました。

第6分区は、富岡、甘楽(3クラブ)、藤岡(3クラブ)安中、碓氷(2クラブ)の計8クラブです。

今回のIMは、ロータリー100年を基して、各クラブの基盤を充実させる目的で、各奉仕委員会の分科会を行わず全出席者を集めて『我がクラブを見直そう』と題してディスカッションを行った。

そして群馬と新潟が分割する前のパストガバナー吉田昭平氏(2560地区)を招いて“我がロータリー物語”の講演を頂き、その後全体で活発な討論を行った。

各クラブの弱点や悩みを投げ掛けて全クラブで考え、色々な意見が飛び出し101年に向かっての有意義な第一歩が見出せてのではないかと思います。

最後に、全クラブの団結を確認し合い、和気あいあいの中懇親会を行い、充実した一日を過ごすことが出来ました。

第6分区IM写真集



講演会講師 2560 地区 吉田昭平パ スガバナー



間寄忠男 IM 実行委員長



ゼネラルリーダー 清 章司パ スガバナー



ディスカッション風景



ディスカッション風景

『 第4回 ライラ研修 』

日 時 2004年10月2日(土) 10:00 登録・受付



2004年10月3日(日) 16:00 解 散
場 所 国立赤城青年の家

研修日程

研修日程表 第1日 10月2日(土)	
午 前	
10:00～10:30	登録・受付
10:30～11:00	オリエンテーション(講堂)
11:00～12:00	開講式(講堂)
午 後	
12:00～13:00	昼食・休憩
13:00～14:00	蕎麦クラフト 自己紹介
14:00～14:10	休憩
14:10～15:50	基調講演 テーマ「文明は人を幸福にするか」 京都大学霊長類研究所教授 正高 信男 氏
15:50～16:00	休憩・移動
16:00～17:00	太極拳実技 北関東武術連盟会長 堀米秀夫氏
17:00～17:30	夕べのつどい(つどいの広場)
17:30～19:00	夕食・休憩
19:00～20:00	合 唱 群馬県立富岡東高等学校 音楽部
20:00～22:00	入浴・自由時間
22:00～22:30	就寝準備
22:30～	消灯・就寝

研修日程表 第2日 10月3日(日)	
午 前	
6:30～7:00	起床・清掃・寝具の整理・洗面等
7:00～7:30	朝のつどい(つどいの広場)
7:30～9:00	朝食・退所点検・移動(講堂)
9:00～11:30	講演とスライド テーマ「心の中に島が見えるか!」 冒険家 石川 直樹 氏
11:30～12:00	感想文 ☆全員2日間の研修の感想文を書く
午 後	
12:00～13:00	昼食・休憩
13:00～14:30	グループディスカッション
14:30～15:10	グループ別発表会
15:10～15:30	休憩・着替え
15:30～16:00	閉講式(講堂)



研修風景



ライラ研修実行委員長 松倉絃洋



集合写真

職業奉仕委員会コンプライアンス研修会

国際ロータリー第 2840 地区
職業奉仕委員長 堀口 靖之

- 1 日 時 2004 年 10 月 2 日 (土) 14:00 ~ 16:05
 - 2 場 所 前橋市岩神町 上毛会館
 - 3 出席者 講師 (株)群馬銀行コンプライアンス統括室長 中林智氏
山崎學ガバナー 佐藤修地区幹事 堀口靖之職業奉仕委員長 野口豊職業奉仕ボランティア委員長 須永登職業奉仕委員 柳澤廣一職業奉仕委員 奥井定夫担当地区副幹事
各クラブ職業奉仕委員長・副委員長・代理計 36 名 女子手伝い 1 名 合計 45 名
 - 4 会のすすめ 司会進行 奥井副幹事
- 14:00 開会の挨拶 野口小委員長
- :02 「我らの生業 (なりわい)」および「四つのテスト」の唱和
 - :07 堀口委員長挨拶 「国際協議会ラタクル氏講演「職業倫理の向上」および 重田 RI 理事 エレクトの「職業奉仕の歴史」CD の全委員長への 8 月中配布について。 研修会テーマの『「職業倫理の向上」から「コンプライアンス」になった』について。
 - :11 山崎ガバナー挨拶
 - :14 講師 (中林智氏) 群馬銀行でコンプライアンス関係に約 10 年たずさわるベテラン 堀口委員長より紹介
 - :15 中林講師「コンプライアンス (法令等の遵守) について」の講演をレジメに基づいて 講演 — みなさん熱心に傾聴 たいへん有意義であった —
- 15:15 同上 終了
- :16 質疑応答 講師へ謝辞謝礼 堀口委員長
休 憩
 - :24 柳澤委員ビデオの説明
 - :25 ビデオ「一つの嘘で会社が消える一問われる企業倫理」
- 16:00 同上 終了
- :02 「四つのテスト」合唱
 - :05 閉会の挨拶 須永委員

No 1



山崎ガバナー挨拶

No 2



研修会風景

No 3



中林講師

ハイライトよねやま

<10月は米山月間>

(財)ロータリー米山記念奨学会
2004年10月13日発行

1. 寄付金速報 ～10月は米山月間です

9月までの寄付金は、前年同期と比べ0.03%減少でした。普通寄付金が0.9%減、特別寄付金が1.3%増です。9月の特別寄付金が前年同期と比べて増加しましたが、これは、今年度からクラブ米山(CY)奨学金【注】の半期毎の分納が可能となったことで、この奨学金に関連する世話クラブからの寄付金が、一部この時期に入るようになったことが要因と考えられます。

10月は米山月間です。クラブ・地区で米山奨学事業に関わる皆さまには、引き続き卓話など広報活動にご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

【注】クラブ米山(CY)奨学金：

博士課程最終学年に在籍し、1年以内に学位取得の見込みのある奨学生に対して、世話クラブからの申込みによって奨学期間を延長できる制度(最長1年)。延長期間(6ヶ月または12ヶ月)の奨学金の半額を世話クラブが寄付金として負担することが条件となる。

2. 今月のロータリーの友“よねやまだより”は……

米山月間・特別座談会：『ロータリアンになった米山学友が語る 米山奨学事業のこれから』 (友10月号P.17～)

『ロータリーの友』10月号の“よねやまだより”では、米山月間特集として、恒例の特別座談会を掲載しています。今年は、現在ロータリアンとなっている4人の米山学友に、自らの経験を踏まえて米山奨学事業について思うところを語っていただきました。支援する側・される側、双方の気持ちをよく知る彼らならではの視点が魅力です。そのほか、ロータリー米山記念奨学会の寄付金や財政、奨学生数などの諸データを2ページにわたって掲載しています。ぜひご一読ください。



3. 第3回フォーラムに向けて皆さまの声をお寄せください

2004年12月11日(土)、新高輪プリンスホテルにて第3回米山奨学事業フォーラムが開催されます。このフォーラムは、ガバナー・エレクトとその推薦者2名の計3名を地区代表とし、2006年度の制度改編に向けた議論のために集う場となります。以下は具体的な論点です。

- (1) 米山の“使命”とは？またその選考基準は？
 - (2) 事業の目的と奨学金額
 - (3) 指定校・大学推薦制度の拡充
 - (4) 世話クラブ・カウンセラー制度の拡充
 - (5) 新しいプログラムへの取り組み
- 【参考資料：『米山奨学事業豆辞典』(p.11～)】

フォーラムに出席いただく3名は、地区の意見を代表して参加されます。皆さまの声をぜひ地区にお届けください。なお、フォーラムで協議された内容については、来年の『ロータリーの友』よねやまだよりにて報告する予定です。

～新会員紹介～



加藤敏雄
前橋西ロータリークラブ
入会日:2004年8月20日
職業分類:地方銀行
勤務先:株式会社 群馬銀行
役職:前橋支店長
推薦者:青木次男



原口秀明
前橋西ロータリークラブ
入会日:2004年9月3日
職業分類:外国為替
勤務先:株式会社 東和銀行
役職:取締役本店営業部長
推薦者:中村 宏

～物故者～

謹んでご冥福をお祈り致します



金井 晃 会員(前橋南RC)
(有)金井損害保険事務所 代表取締役
ロータリー歴
1995年7月19日前橋南RC入会
2004年10月12日逝去

文 庫 通 信 (206号)

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫
2003～2004年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	32,799	雇用保険料預り金	10,154
普通預金	2,676,458	社会保険料預り金	246,654
定期預金	10,000,000	負 債 合 計	256,808
		正味財産	
現金預金計	12,709,257	次期繰越剰余金	12,452,449
合 計	12,709,257	合 計	12,709,257

(収支計算書)

収 入		支 出	
会 費 収 入	31,795,950	委 員 会 費	1,467,118
雑 収 入	517,569	業 務 費	4,485,470
		賃 貸 管 理 費	9,191,880
		人 件 費	16,913,155
		予 備 費	552,100
当 期 合 計	32,313,519	当 期 合 計	32,609,723
前期繰越収支差額	12,748,653	当 期 収 支 差 額	296,204
収 入 合 計	45,062,172	次期繰越収支差額	12,452,449

〒105-0011

ロータリー文庫

東京都港区芝公園 2-6-3 abc会館 7階

TEL:03-3433-6456 / FAX:03-3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 午前10時～午後5時

休館 土・日・祝祭日

第2840地区 2004年9月出席報告

クラブ数	会員数				
	月初	9月末日	純増減会員数	女性会員数	当月平均出席率
47	2167	2168	1	67	87.78

クラブ名	例会数	出席率 %	会員数				クラブ名	例会数	出席率 %	会員数					
			月始	月末	増減	女性				月始	月末	増減	女性		
第1分区分	前橋	4	95.15	103	103	0	3	第4分区分	太田	4	93.84	86	87	1	1
	前橋西	4	95.00	64	65	1	3		館林	4	90.31	56	56	0	0
	前橋東	4	92.36	68	68	0	3		大泉	5	88.72	57	56	-1	1
	前橋北	3	92.81	54	54	0	3		太田西	4	89.57	33	33	0	1
	前橋南	4	92.86	37	38	1	1		太田南	4	96.00	45	45	0	0
	前橋中央	4	89.87	37	37	0	6		館林西	4	85.11	21	21	0	0
	合計		93.01	363	365	2	19		新田	5	93.40	39	39	0	0
第2分区分	桐生	3	75.36	62	62	0	0	館林東	4	87.04	30	30	0	1	
	伊勢崎	5	91.73	64	65	1	0	太田中央	5	87.37	38	38	0	3	
	桐生南	5	74.87	43	43	0	3	館林レニアム	4	86.45	28	28	0	0	
	群馬境	4	79.10	46	45	-1	1	合計		89.78	433	433	0	7	
	桐生西	4	92.50	61	61	0	1	第5分区分	渋川	4	90.68	70	70	0	2
	伊勢崎中央	4	85.48	65	65	0	1		沼田	4	100.00	54	54	0	0
	伊勢崎南	4	86.25	40	40	0	1		草津	4	80.05	27	26	-1	2
	桐生中央	4	84.37	35	35	0	4		水上	4	98.00	8	8	0	0
	伊勢崎東	3	92.15	34	34	0	1		中之条	4	92.00	26	27	1	1
	桐生赤城	4	98.13	40	40	0	2		沼田中央	5	87.60	50	49	-1	0
合計		85.99	490	490	0	14	渋川みどり		4	85.12	43	43	0	2	
第3分区分	高崎	2	80.14	71	71	0	0	合計		90.49	278	277	-1	7	
	高崎南	4	91.73	67	68	1	3	第6分区分	富岡	5	91.40	54	54	0	3
	高崎北	5	83.53	59	59	0	0		藤岡	4	85.58	52	52	0	2
	高崎東	4	98.50	52	52	0	0		安中	4	68.96	29	29	0	0
	高崎ソフオーニ-	4	86.91	48	48	0	3		藤岡北	4	76.56	20	20	0	2
	高崎セントラル	4	80.56	39	39	0	0		富岡中央	4	95.16	34	34	0	1
	合計		86.90	336	337	1	6		碓氷安中	5	83.50	24	23	-1	2
							藤岡南		4	84.26	27	27	0	3	
							富岡かぶら	4	69.45	27	27	0	1		
							合計		81.86	267	266	-1	14		

公式訪問・行事予定

11月の公式訪問予定

11月1日 (月) 桐生 RC
 11月2日 (火) 前橋 RC
 11月4日 (木) 高崎東 RC
 11月5日 (金) 館林 RC
 11月9日 (火) 沼田 RC
 11月10日 (水) 伊勢崎 RC
 11月11日 (木) 渋川 RC
 11月19日 (金) 前橋西 RC
 11月22日 (月) 高崎 RC
 11月24日 (水) 高崎北 RC
 11月25日 (木) 藤岡 RC
 11月30日 (火) 高崎南 RC

11月の行事予定

11月14日 (日) 地区指導者育成セミナー
 11月25日 (木) ローター財団セミナー
 11月26日 (金) GETS
 11月27日 (土) ローターゾーン研究会
 11月28日 (日) "

11月のロータリーレートは 1ドル 108円です